

看護小規模多機能めぐみ小祿南の考える 協働のまちづくりの一步

医療法人 好縁会グループ 看護小規模多機能施設めぐみ小祿南 相談員 福里ひろみ 氏



看護小規模多機能 めぐみ小祿南の紹介

私どもは令和2年8月に高良に誕生した新しい高齢者の介護施設です。

コロナ禍のオープンとなっしまい、地域の方々にお披露目もできず、「どんな施設なんだろう?」と疑問を持たれている方も多くいらっしゃると思います。

3階建ての建物で2階3階はグループホームで認知症の高齢者が共同で生活しております。1階は看護小規模多機能施設です。通いサービスでは、デイサービスのように事業所に通って食事や入浴、レクリエーションなどの介護サービスが受けられます。また、機能訓練や医療的処置などの看護サービスも受けることができます。訪問サービスではヘルパーや看護師がご自宅に訪問し、看護・介護のサービスが受けられます。泊りのサービスでは、ショートステイのように施設にお泊りいただくことができます。この多機能サービスを柔軟に組み合わせ、医療的ニーズが高くなって安心して在宅で生活していただくためのサービスを提供しています。

看護小規模多機能めぐみ小祿南には看護師が常駐しているので、「暮らしの保健室」となって、血圧測定などの健康チェック、体調不安や心配事などの相談に気軽にいらしていただけたらと思っています。場合によっては、出張サービスも、おせっかいな看護師・介護士が、お邪魔いたします～(#^^#)



結の分かち(愛)あい

また、NPO法人グランアーク、沖縄県人生支援センター、沖縄県がん患者会連合会とも協力しながら、「結いの交流会」を開催し、コミュニティーのフレイル予防や認知症講演会、「ゆんたくガーデン、みんなで健康づくり・生きがいづくり」で土づくりから始める野菜と花の種まきなど地域の憩いの場

として活用していただけるようにと活動を始めております。
『困ったことがあればめぐみへ』を合言葉に気軽に集まっていただける施設を目指しております。逆に『困ったことがなくても、暇があればめぐみへ』でもいいかもしれませんね(笑)。



最後まで地域と共に生きる

グループホームには認知症を持つ方が共同で生活しております。認知症を患っていらっしゃるからといって何もできないわけではありません。子どもたちが元気よく笑っている姿をみるとこちらも元気になる。朝の子どもたちの安全な登校のために立哨活動を考えております。それが定着し、子どもたちから「おはようオジー、おはようオーバー」と気軽に呼んでいただけると嬉しいです。また放課後の子どもの居場所としても活用できたらと考えております。例えば、学校帰りにご両親が仕事などで不在の時にこちらで宿題をやり、オジーオーバーと一緒に過ごし、ご両親が帰られる頃に自宅へ帰るというようなこともできたらと考えております。

高良のこの地で『孤独死を絶対に出さない!』をモットーに地域に根差し、地域に貢献できる施設でありたいと切に願っております。そのためにはたくさんの方々がこの施設を知ってもらい、気軽にいらしていただき、地域の集いの場となるよう、日々、取り組んで参ります。

なは地域貢献便り 5月

「なは地域貢献便り」は、那覇市内の社会福祉法人等施設が、地域の応援団として取り組む情報誌です。

令和4年度小規模法人ネットワーク化(ちゅいしいじい事業) 事業計画

本事業は令和4年度までの3年間の社協と各法人が連携・協働するモデル事業です。2022年3月3日(木)17日(木)に開催した第7回・8回那覇市社会福祉法人等施設連絡会で、事業報告をお伝えしました。今号では標記の事業計画承認をご報告します。皆さんと共に取り組んで参りましょう。

令和4年度(2022年度)事業計画

1. 那覇市社会福祉施設向けの地域貢献に関する協働の手引書作成
2. 検討部会の設置(手引書作成の編集作業・今後の運営方針等)
3. 行政区毎のプラットフォームの設置
 - ①連絡会年6回(首里・本庁合同年3回、小祿・真和志合同年3回)
 - ②地域福祉懇談会年1回(首里・本庁・真和志・小祿各地区開催【地域のプラットフォーム】)
 - *外部関係研修・会議(意見交換など)案内随時
4. 広報
 - ①なは地域貢献便り発行 年4回
 - ②ホームページの更新・SNSの活用等
5. 食料寄付推進事業の継続 目標年間5千点
6. 移動支援サービス事業の推進継続 目標1か所設置
7. 福祉人材育成事業の推進継続 目標4校
8. その他(災害時支援・地域の見守り活動支援等)



上記(ちゅいしいじい事業)事業計画の詳細

1. 那覇市社会福祉施設向けの地域貢献に関する協働の手引書作成して多くの社会福祉施設で活動に参画しやすい環境を推進します。
2. 手引書作成のための検討部会で案を作成し内容を協議する。(メンバーは事務局一任)※7つの活動分野を整理
3. 連絡会を8回から6回に減らし、行政区毎の地域福祉懇談会に参加し社会福祉施設の活動について周知を図る。(懇談会は、行政区毎に18の民生委員児童委員協議会、4地区の自治会連合会、青年会議所、商工会議所、行政、社協、ちゅいしいじい事業連絡会)
4. 地域貢献便りを年6回から4回とし2回分得手引書の作成に充て、
- 5~7. は、継続実施します。
8. のその他は各行政区毎個別での対応となります。



那覇市社会福祉法人等施設連絡会 (行政区毎のプラットフォーム) 参加者名簿

| 地区 | 番号 | 施設名 | 対象 |
|-------|----|------------------|--------|
| 首里地区 | 1 | 社会福祉法人ゆうなの会 | 高齢 |
| | 2 | 社会福祉法人若杉福祉会 | 保育・児童 |
| | 3 | 社会福祉法人偕生会石嶺児童園 | 児童 |
| | 4 | 社会福祉法人からし種の会 | 障がい |
| | 5 | 社会医療法人葦の会 | 障害・高齢 |
| 真和志地区 | 6 | 社会福祉法人おきなわ共生会 | 高齢 |
| | 7 | 社会福祉法人沖縄中央福祉会 | 高齢・障がい |
| | 8 | 乙羽会 | 高齢 |
| | 9 | Npo 法人一万人の井戸端会議 | 地域 |
| | 10 | 医療法人城南会 | 高齢 |
| | 11 | 日本赤十字社沖縄県支部 | 高齢 |
| 本庁地区 | 12 | 非営利型一般社団法人ハーネス | 障がい |
| | 13 | 社会福祉法人そでの会 | 障がい |
| | 14 | 社会福祉法人ポプラ福祉会 | 保育・児童 |
| | 15 | 社会福祉法人うるま福祉会 | 保育 |
| | 16 | 社会福祉法人雅福祉会 | 保育 |
| | 17 | 医療法人正清会 | 高齢・障がい |
| | 18 | 社会福祉法人ニライカナイ | 障がい |
| 小祿地区 | 19 | 社会福祉法人ペリー福祉会 | 保育 |
| | 20 | 社会福祉法人垣花福祉会 | 保育 |
| | 21 | 社会福祉法人千草福祉会 | 保育 |
| | 22 | 医療法人沖縄にじの会 | 高齢 |
| | 23 | 医療法人好縁会 | 高齢 |
| | 24 | 有限会社百栄 | 高齢 |
| | 25 | 社会福祉法人那覇市社会福祉協議会 | 地域福祉 |

(令和4年3月31日時点)



事業計画に対する意見交換

第7回、8回那覇市社会福祉法人等施設連絡会は、事務局と県社協以外のほとんどがzoomによる参加となりました。



各法人の声を大切に受け止め、事業計画に基づいて新年度の動きを心がけていきます。

NPO 法人 1万人の井戸端会議 繁多川公民館

- 「福祉教育の分野で、貧困的福祉感の再生産が議論されており、もっと福祉教育の在り方について学ぶ必要がある。(県社協や福祉教育分野の研修会の参加を促します。)
- 可能な限り CSW、民生委員、地域からの相談等の実践事例を元に連絡会の運営を望む。

沖縄中央福祉会 彩風の杜

- フードドライブ運動を積極的に協力したい。
- 地域の居場所へ、PT、OT の派遣を通して健康づくりのお手伝いができるようにしたい。
- 法人で移動支援が継続できる方法について考えていきたい。

乙羽会 グリーンハウス 国場

- 昨年はコロナ対策に追われ、フードドライブ運動のみの活動だった。
- 今年度は、薬膳料理のセミナー通した食の改善をフードドライブ事業に絡め、連絡会をサポートしていきたい。

日本赤十字社 沖縄県支部

- 福祉避難計画などの勉強会で避難の内容を伝えることが出来た。
- 次年度も自法人の特徴的な活動、防災教育や防災訓練等に関わる

ニライカナイ

- 新しく地域連携室が設置されたので手引書作成協力できます。
- 地域福祉懇談会にも積極的に関わってきたい。
- 就労支援事業と保育園で交流を行ったが次年度も継続したい。

ペリー福祉会・ペリー保育園

- 手引書の中に、保育園の独居高齢者の声掛け訪問についての活動が可能になるように、園長会で提案していきたい。
- 市内の認可園 80 園に少子化の影響で定員割れの園も見られる。子どもだけに特化するのではなく、新たな事業展開が福祉に求められている。関連した様々な業種の情報が知りたい。ペリーファームを活用し食育として花野菜を育て地域にも還元したい

沖縄にじの会

- 手引書に協力していきたい。コロナ禍の中で懇談会模索中
- 食料支援事業や地域相談に今後力を注いでいきたい。
- 7つのテーマの枠組みが大きく感ずる。もう少しテーマを細分化することで、法人は関わりやすくなるか。少子化において全世代型の福祉感を持つ意味でいろんな法人とのかわり合いが良いと感じる

そてつの会

- 手引書にはコロナ禍の支援、コロナ終息後の支援を整理して明記する必要がある
- 近隣の包括支援センターとの連携を意識して活用する。

正清会 久田病院

- 看護師を目指す無料塾を継続し現在募集中。特に理系の大学への進学者の応援をしていきたい。食料支援も通年で協力します。

非営利型一般社団法人ハーネス

- 児童クラブを立ち上げて、福祉教育や遊び場を作る
- 共同売店の活用など通して自治会など地域と協力していきたい。居場所の提供により福祉の困りごとを見つかる場となる。

ゆうなの会

- 福祉教育に協力するなかで、専門的な研修の場が必要と感じた
- 手引書の作成は活動のヒントになれば良い、地域福祉懇談会は楽しみ

偕生会 石嶺児童園

- 米など提供受けた物資を以て、卒園生の生活状況を確認できた。
- 手引書は事務局でこれまでのイメージ(たたき台)をもとに、部会で掘り下げていく方がよい

垣花福祉会 すがやま保育園

- 手引書で多くの法人の活動のヒントになれば是非作成してほしい。
- 民生委員との繋がりが出来た。懇談会で更に地域住民と繋がりが深まって貢献活動になればと思う。

活動アラカルト

那覇市園長会にて、ちゅいしいじい事業を説明

去る3月24日(木)那覇市園長会の定例会にズームで参加。市内80園の加入している那覇市園長会(会長 千草福祉会 園長 金城祐佐氏)の定例会で、金城会長から、フードドライブ運動を各園にも広報したうえで、園長会での取組みとして呼びかけたいとのことで、ちゅいしいじい事業の説明と併せて食料寄付のご依頼をさせて頂いた。寄付者の広報は、地域貢献便りを通してお知らせし、食料支援の申し込み方法、申し込み用紙は、チラシを作成し各園のメーリングリスト及び郵送でお送りすることを伝えました。



トモラジ(FMレキオ)にちゅいしいじい事業出演

脳性麻痺で身体に重度障がいがありながらも自立生活をしている友利俊幸さんのラジオ番組の sponsor でありボランティア応援団の正清会 久田病院の久田護雄事務長の計らいで、災害時の個別避難支援計画の作成について突撃インタビューを試みた。

小祿地区担当の CSW 前川三奈から、友利氏に二つの質問をしました、①「災害時個別避難支援計画」を作成したことはありますか?②「夜中に川が氾濫して一人の時どのように行動しますか?」の問いに友利氏は①の回答「以前、相談支援専門員の方のアドバイスを元に、避難する場所や、災害時の声掛けするときの段取りなど確認したことはある。大事なことは地域のひとと普段から顔を覚えてもらう事」と語った。②の回答に「ベッドからあがいて窓ガラスを必死で開けて、近所で日ごろから声掛けしている人に『助けて〜』と何度も大きな声で叫ぶよ」と答えた。

独居の彼にとって、8事業所のヘルパーを30名近く関わっていても、福祉サービスだけに依存することなく日頃の近所との繋がりを大切にしていることを学びインタビュー調査をまじめに時に面白おかしく終えました。



週刊情報紙『リサイクル』による地域貢献

一般社団法人ハーネスの初代理事長で、ハーネスの生き字引である永山盛秀(自称 地域福祉活動ボランティア)さんは、一時期体調不良で、週一で地域情報紙かわら版の発行をお休みしていました。少しずつ回復し、地域福祉活動していくうえで情報交流の必要性を痛感して個人的情報紙として『リサイクル』の発行を通して地域貢献を再開しました。どうか、お身体をご自愛し継続的な活動を切望します。

なお、ちゅいしいじい事業のメーリングリストにもお送りしますので読んでみてください。



募集
します

- ①学校で施設のお仕事講話や学校における福祉体験活動に協力できる施設を募ります。
- ②食糧支援寄付を募ります。(詳細は別刷りでチラシを添付していますのでお申し込みください)
- ③あなたの施設において、地域と連携して、又は社協と連携して行っている地域貢献活動や、これからやってみたいこと等の活動内容の相談がありましたら、下記までご連絡ください

上記の募集に関して、下記までご連絡をお待ちしております。

tel 098-857-7766 fax 098-857-6052 mail 1101tyui@nahasyakyo.org

那覇市社会福祉協議会(地域福祉課 福祉活動専門員 山城章)